

## Mine<sup>みね</sup>秋吉台<sup>あきよしだい</sup> ジオパークの概要

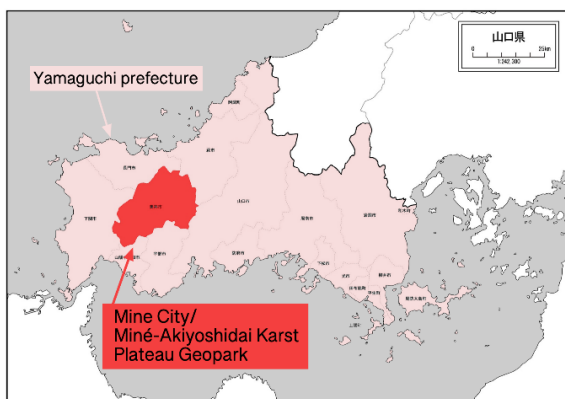
### 1. 構成自治体・面積

山口県<sup>みね</sup>美祢市（1市）・総面積 472.64 km<sup>2</sup>

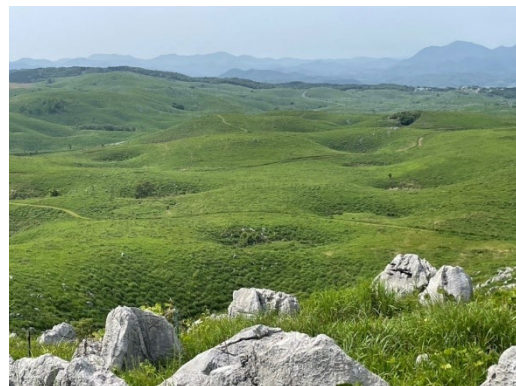
### 2. 特徴

- Mine 秋吉台ジオパークは、山口県美祢市全域を対象とした地域である。標高 400～700m の山地、標高 200～400m のカルスト台地、さらに標高 100m 以下の谷底平野を含む盆地から成り立つ。
- この地域は、日本最大級のカルスト台地として知られ、独特の地形景観を誇る。特に、地下に広がる秋芳洞は日本最大級の鍾乳洞として観光スポットとして非常に人気が高い。
- ジオパークの代表的な地質地形遺産には、後期石炭紀からペルム紀にかけて形成された海山型の石灰岩と、それにより発達したカルスト地形、後期三畳紀の石炭（無煙炭）層、そして白亜紀の火成活動に伴う銅・銀鉱床の四つが挙げられる。これらの地層は、古くは約 1,300 年前から採掘されており、日本の歴史や社会に大きな影響を与えてきた。
- 秋吉台の広大な草原には、多くの草原性動植物が生息し、地下の鍾乳洞にはコウモリなどの洞窟動物が生息している。特に、洞窟動物の保護のため、秋吉台の地下水系はラムサール条約に登録されている。
- 産業面では、石灰石の採掘が継続されており、地域の重要な産業の一つとなっている。近年ではジオツーリズムを中心とした観光活動が盛んになり、地域経済の柱として地域の団体も積極的に取り組んでいる。

#### 位置



#### 秋吉台の景観



# ユネスコ世界ジオパークについて

国際的に価値のある地質遺産を保護し、そうした地質遺産がもたらした自然環境や地域の文化への理解を深め、科学研究や教育、地域振興等に活用することにより、自然と人間との共生及び持続可能な開発を実現することを目的とした事業。

認定総数は、51か国、241地域（2026年4月にユネスコ執行委員会で承認予定のものを含む）。

## 日本国内のユネスコ世界ジオパーク（11か所）

**教育**

糸魚川・親不知  
秋吉台カルスト台地  
山陰海岸・鳥取砂丘  
隠岐・国賀海岸

**研究**

アポイ岳  
洞爺湖有珠山  
洞爺湖有珠山  
昭和祈山・洞爺湖・中島

**観光**

糸魚川  
白山手取川  
山陰海岸  
隠岐  
Minokake台  
島原半島  
室戸  
阿蘇  
伊豆半島  
室戸・室戸岬  
阿蘇・中岳火口  
伊豆半島・堂ヶ島

